

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

災害福祉支援チームが始動 (2・3面)

- 県社協29年度主な事業・予算
- 表紙関連連載始まる。第1回は「新潟平野の龍蛇」
- 福祉職「研修受講管理システム」活用を！

4月号
2017
第776号



絵 高橋 郁丸「新潟平野の龍蛇（江戸時代）」(漫画家・新潟市中央区)

新潟県災害福祉 広域支援ネットワーク協議会

災害福祉支援チームが始動

新潟県内13福祉関係団体で構成する「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」では、災害時に構成団体の福祉専門職などを避難所や福祉避難所などに派遣し、要配慮者に対する支援活動を行う「災害福祉支援チーム」を設置し活動を開始しました。

県内5地区に編成・設置 避難所での二次被害防

東日本大震災をはじめとする大災害では、避難所などでの体調悪化などによる災害関連死が大きな問題となりました。とりわけ、高

齢者や障害者などの災害時に配慮を要する方々に、それぞれに適した避難環境を提供し、避難生活に伴って生じる二次被害の発生を防

止めることは、防災対策上極めて重要な課題となっております。

厚生労働省では、東日本大震災の教訓から、災害時要配慮者に対する支援に

は、広域的な福祉・介護分野の人材派遣のため

の体制づくりが不可欠として、都道府県にその

取り組みを促しています。本県では、新潟県社会福祉協

議会が事務局となって「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」を設立し、構成団体の専門性を生かした支援体制の構築について検討を重ねてきました。このたび、福祉専門職67人による「災害福祉支援チーム」を県内5地区に編成・設置

する運びとなり、3月1日に新潟市で開催したチーム研修会を皮切りに活動を開始しました。

チームは、原則として、被災市町村からの支援要請を受けた県の要請に基づいて、被災地の避難所や福祉避難所などに派遣され、要

配慮者に対する福祉的な支援活動を行います。チームの体制や運用方法

などについては、これからさらに検討していかねばなりません

が、チームの

〈新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会の構成団体〉

事業者団体	○県老人福祉施設協議会 ○県身体障害者福祉施設協議会 ○県精神障害者社会福祉施設協議会 ○県社会福祉法人経営者協議会 ○県知的障害者福祉協会 ○県救護施設協議会 ○県社会就労センター連絡協議会
職能団体	○県社会福祉士会 ○県介護福祉士会 ○県ホームヘルパー協議会 ○県介護支援専門員協会
その他の団体	○災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード ○県社会福祉協議会（事務局）

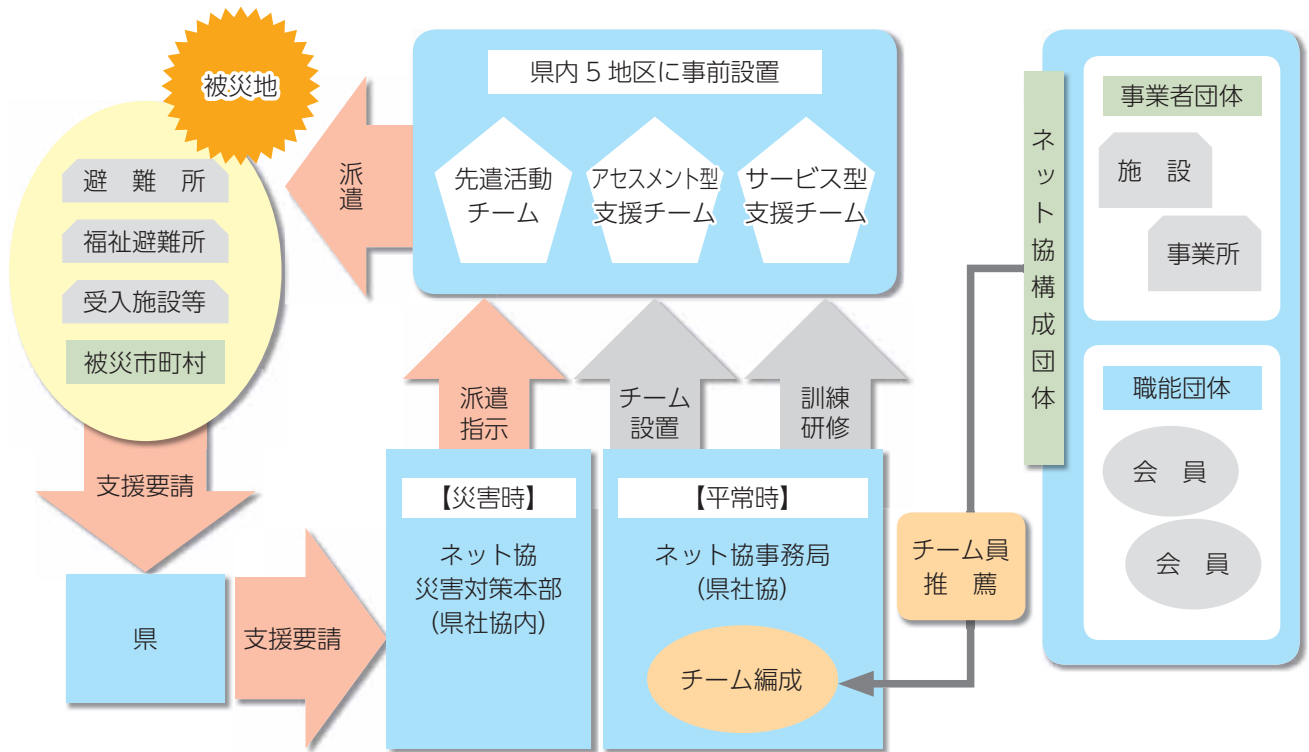
発足は、新潟県の災害対策にとって大きな一歩であり、今後さらに大きく育てていかなければなりません。

また、チームを有効なものとするためには、チームの支援活動を行政と福祉関係団体などが協働して行う災害対策のひとつとして明確に位置付け、関係者間

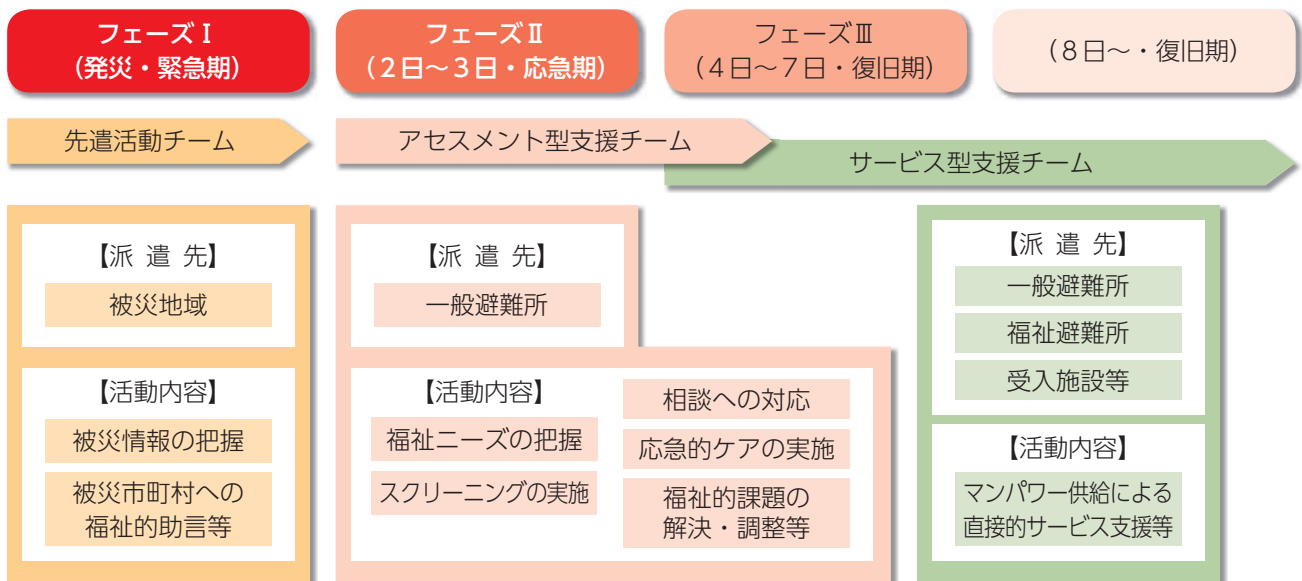


3月1日に新潟ユニゾンプラザで開催された「災害福祉支援チーム研修会」ワークショップ

派遣チーム概念図



災害時におけるチーム派遣支援のイメージ（県内発生災害を想定）



このため、協議会では、チーム派遣のルールとなる協定の締結やチーム活動の県地域防災計画への明記について、県との間で調整を進めています。

昨年4月に発生した熊本地震では、福祉避難所の開設が遅れるなど、過去の災害の貴重な教訓が生かされなかったと言われています。また、協議会の「災害福祉支援チーム」と目的を同じくする熊本県のチームも迅速な支援体制を組めなかったと聞いています。

大規模災害では、支援に当たるチーム員も被災者であるという現実があります。また、施設利用者や家族など守るべき存在がある中で、どのようにそれらに乗り越え、期待に応えていけるか。チームにとって大きな課題をはらみながらのスタートですが、今後とも皆さまの温かいご支援とご協力をお願いします。